

## ●中央公民館

---

日 時：6月24日（金）18：30～20：30

場 所：中央公民館

### I 将来像について

---

#### 【（案1）「みらい創造都市 とよなか～明日がもっと楽しみなまち～」に抱くイメージ】

- ・ ガラッと変えるイメージ
- ・ 「みらい創造」⇔今をつなぐ（現状・課題）
- ・ 「創造」は新しいイメージ
- ・ 「みらい」＝“子ども”というイメージで“教育”にもつながる。
- ・ 変革
- ・ 未来志向
- ・ 新しい価値
- ・ ハイカラ
- ・ 常に先を見つめ、考える
- ・ 豊か

#### 【（案2）「暮らし・夢・育み～明日がもっと楽しみなまち～」に抱くイメージ】

- ・ 案2の方が良いのでは。
- ・ “住宅地博物館”（※講師からの提案）のイメージ（住宅、教育、文化）

#### 【（案1、案2）に抱く共通イメージ】

- ・ 「明日がもっと楽しみなまち」は良いのでは。
- ・ 「楽しみ」もよいが、“おもしろい”という感じを込めてはどうか。
- ・ おもいきった面白いことをしてもよいと思う。
- ・ 抽象的すぎる。
- ・ 将来像として、豊かな「福祉」「文化」「教育」「医療」をもっとうたうべき。
- ・ 以前（新豊中市総合計画：昭和61年（1986年））の「緑豊かな生活文化創造都市」という目標はよかった。
- ・ 明るい気持ちになるまち。
- ・ 脱皮が必要。
- ・ これまではおとなしいイメージ。これからは“やんちゃな豊中”のイメージでもよいのでは。
- ・ “住民の暮らしがどうなるか”を表現してほしい。
- ・ 住宅地として極める（周辺で楽しみ、“住む”に専念）。
- ・ 将来像に特徴が必要。
- ・ 課題をどう克服するか。
- ・ 様々なデータ、視点でみることが大切
- ・ 地域によって特徴があり、大切だと思うが、将来像の案からは自分のエリアと他のエリアの違いはわからない。

## Ⅱ その他（豊中市全体について）

---

### ● 豊中の都市イメージ

- ・ ベッドタウン。
- ・ 交通の便がよい。
- ・ 住民として“好き”。
- ・ 全教科 80 点。
- ・ 岡町商店街はレトロ。
- ・ 豊中は良いまち。
- ・ 福祉、文化が豊か。
- ・ 地道に堅実。
- ・ 講師のお話しにあったように、お菓子屋さんの多いまちとの印象がある。このままあり続けるといい。
- ・ 講師のお話より・・・豊中の資源：山景観、カステラと市内産業の関係、資源として「ものづくり」、石積み（六甲、生駒 etc.）、和菓子（津の国）、歴史（街の文化）

### ● 豊中の抱える問題点・課題

#### [全体における問題点・課題や方向性]

- ・ いいものをもっと PR すべき。外向き、内向き PR。アピールの勉強が必要。
  - \*良さがいっぱいあるのに、豊中はアピールが弱いのでは。
  - \*ある程度のブランド価値があるが、当たり前と思って、イメージ化してきていない。
  - \*恵まれた市であることを認識すべき。
  - \*個性が見えにくいのでは。主張しない良い人が多い。まとまりすぎ。特徴がない。
  - \*吹田と比較して、歴史と文化の厚みがある。もっとアピールしては。
  - \*よそから来た方に市内の各所を案内する機会があり、住宅、食、歴史など色々なところを案内して、「良い所に住んでいるね」と言われた。
  - \*モノレール「柴原」駅はもっと PR できる駅名（例：大阪大学前、市立病院前など）にすることもできる。
  - \*市の花が「バラ」なのに、まちにバラが咲いていない。バラ園で全国発信（市のアピール力）。
- ・ 住民同士でまちの良さを共感することが必要。
- ・ 「豊中社協ドラマ化」のようなソフト的な取り組みを充実
- ・ “昔は良かった”を新しい貯金にしていくべき。
- ・ 庁内で共通認識して進めるべき。
- ・ 地の方が少なくなってきたおり、寄せ集めになっているのはよいことであるが、現在バラバラ。事業などをやると参加者としてはよそから来た通勤族の方のほうが多かたりするので、こういう方をつないで、新旧のつながりづくりを進める。良い意味の親しみがなくなってきた。
- ・ 人をどう育てるかが大切。
- ・ 若い人に伝えることが大切。

#### [子育て関連の問題点・課題や方向性]

- ・ 公園で子どもが遊んでいない（見ない）。
- ・ 子どもの教育の充実。
- ・ 子育て（市内・市外）。

#### [安全・安心に関わる問題点・課題や方向性]

- ・ 安心、安全を伸ばす。
- ・ 豊中市内でも格差が開いている（生活保護 1 万人、認知症、母子・父子家庭、高齢化の進行等）。福祉をもっと進めるべき。

#### [都市環境・住環境づくりに関わる問題点・課題や方向性]

- ・ 道路の横のつながりは良くない（縦の移動は良い）。
- ・ 緑、景観が大切。
- ・ 自然資源を取り入れる。
- ・ 緑を切ってはいけない。
- ・ ちょっと休める空間が必要。
- ・ 施設の活用・再構築。
- ・ 庄内地域のよさもたくさんある。

#### [文化創造に関わる問題点・課題や方向性]

- ・ 星岡茶寮の場所などを明確にして PR すればよい。
- ・ 歴史文化遺産でも碑しかないところなどがある。
- ・ 手塚治虫生誕の地（自慢しない）。
- ・ 交通の便が良すぎて留まらない。新たなスポット（人が集まる）が必要。
- ・ 文化が弱い。・・・美術館がない（美術品提供の意向を持たれている市民もいらっしゃる）。
- ・ 交流も大事（観光）。

#### ● その他

- ・ 先生の話、面白かった
- ・ 他地域でやったこともお知らせしてほしい。
- ・ 総合計画の進捗評価を行っているのはいいことなので続けてほしい。

## ●庄内公民館

---

日 時：6月25日（土）10：00～12：00

場 所：庄内公民館

### I 将来像について

---

#### 【（案1）「みらい創造都市 とよなか～明日がもっと楽しみなまち～」に抱くイメージ】

- ・ 「みらい創造都市」は“新しいまち”のイメージ？ イメージしづらい。
- ・ 身近なイメージでいい。
- ・ 「みらい」かっこよすぎる。
- ・ いきなり未来のまちが出来るのではない（積み上げていくイメージ）。
- ・ 将来像らしいので案1のほうがよい（「なってほしいな」という思いをこめて）。

#### 【（案2）「暮らし・夢・育み～明日がもっと楽しみなまち～」に抱くイメージ】

- ・ この言葉の続きがわかればよい。
- ・ 誰へのメッセージ？（住んでいる人と周りの人、両方）
- ・ 「暮らし」という言葉が出ていてよい。
- ・ 安全、安心のイメージが「暮らし」に表れている。

#### 【（案1、案2）に抱く共通イメージ】

- ・ ハイソなイメージだけでなく、“おもしろい”イメージももりこめるとよい。
- ・ サブタイトルは生きている。

### II その他①（豊中市全体について）

---

#### ●方向性について

##### 【全体における問題点・課題や方向性】

- ・ 南北に分かれている特徴。地域によってイメージが違う。北部の人口増えすぎている。
- ・ 北部は坂があるが南部は平坦といった環境から、例えば、子どもは南部、働く世代は利便性の高い北部、高齢期には南部などライフステージによって暮らしやすさで地域を選択できる。（南部（子ども）→北部（働くとき）→南部（高齢））
- ・ 豊中市は2km以内で駅に行ける利便性の高いまち。
- ・ 都会のようで田舎のようで、ゆったりとしたまちづくり。
- ・ まちが変わってしまっているのか。
- ・ 未来に何を残すか。
- ・ ご近所で掃除があったり、どぶさらいしたりで、子どもはごほうびにお菓子をもらったりしていた。こういったことで帰属意識が育つ。“会話のあるまち（交流、コミュニティ）”にしていくべき。
- ・ 豊中市のプロモーション：ブランドイメージの確立⇔文化の発信。
- ・ 都市間競争はやめるべき。近隣市との連携。
- ・ 話合える機会、場の創出。

#### [子育て関連の問題点・課題や方向性]

- ・ 千里の建て替えによる保育所不足。
- ・ 総合的な子育ての仕組み。
- ・ ライフスタイルが変容している。若い世代の能力発揮。
- ・ 子ども目線での取組み。
- ・ 西宮のキッザニアのような取組み。

#### [安全・安心に関わる問題点・課題や方向性]

- ・ 制度からめれる人は確実にいる。まだまだゴールではない。
- ・ 防災は推進。

#### [都市環境・住環境づくりに関わる問題点・課題や方向性]

- ・ 歩道が少ない。段差がある。歩行者空間の整備。
- ・ 自転車のマナー向上。
- ・ 遊歩道が逆に危険。自転車レーンの設置。
- ・ 歩いてまちに出かけられる空間づくり。
- ・ 減築もありでは？
- ・ 噴水や流水が止まり、公園があれているので再利用を進める。
- ・ 「商店街での会話」が大切。
- ・ 市内外の賑わいづくりが重要。

### Ⅲ その他②（庄内地域について）

---

#### ● 庄内のイメージ

- ・ まちの人の思いが強いエリア。
- ・ 高速も近くて便利。
- ・ 庄内は恵まれている。
- ・ あまり坂がない、自転車で梅田へも行ける、何でも身近にある。
- ・ 年配の方も住みやすい、楽しい。
- ・ おもしろいまち。
- ・ 人がいい地域で、“鍵のいらないまち”といわれていた。
- ・ 話が早い。
- ・ 「庄内」は少し言いにくい。
- ・ いろいろな活動がある：ハッピーコーラス（音大先生）。広場でグラウンドゴルフ楽しめている。主婦協、旅行楽しかった。
- ・ 暮らしやすい。
- ・ 庄内が一番（住むのにここを選んだ）。
- ・ IPS 細胞を研究されている高橋さんは庄内出身。
- ・ 庄内の昔：昭和 34 年、庄内はどぶ川が汚かった。なつかしい、昭和 30 年、文化のまち。近所付き合い一醤油を借りるとかがあった。行き止まりが多かった。

## ● 庄内地域の抱える問題点・課題や方向性

### [全体における問題点・課題や方向性]

- ・ 庄内は暮らしやすいので、このままがよいとの意見もある。
- ・ 新しい人と歴史的な街との接点が必要。

### [教育、安全・安心に関わる問題点・課題や方向性]

- ・ 総合病院が南部にもほしい。救急は個人病院しかない。
- ・ 南部は、総合診療、教育が弱い。北部との格差縮小が必要。
- ・ 庄内の駅前に図書館があるといい。
- ・ 安全、安心なまちにしていく。→地震などへの対応が重要。
- ・ 地震の時の建物（耐震）。

### [都市環境・住環境づくりに関わる問題点・課題や方向性]

- ・ 駅周辺が雑然としている。
- ・ 駅周辺をきれいにしてほしい（立体化）。
- ・ 駐車場ができて良かったが利用者が多いので、料金を安くしてほしい。
- ・ 文化住宅は少なくなっている。
- ・ 空き家が増えた。
- ・ 歩きやすい道づくり（高齢者）。
- ・ 自転車が多い。
- ・ 音大の学生さんの交通マナーなどが悪い。
- ・ 道路が狭い（自転車も走るのが危ない）。

## ●千里公民館

---

日 時：6月26日（日）14：00～16：00

場 所：千里公民館

### I 将来像について

---

#### 【（案1）「みらい創造都市 とよなか～明日がもっと楽しみなまち～」に抱くイメージ】

- ・ 「みらい創造都市」がかっこよすぎる。
- ・ 「みらい創造都市」のイメージがわからない。漠然としている。
- ・ 人を引き寄せるイメージがある。

#### 【（案2）「暮らし・夢・育み～明日がもっと楽しみなまち～」に抱くイメージ】

- ・ 子育て世代には身近に感じる。
- ・ “住みよい”とのイメージに近い。
- ・ “3丁目の夕日”のイメージに戻っていく感じがよい。
- ・ みんなでつくっていくイメージがするのでよい。
- ・ 案1に比較すると具体的だが、あたり前の内容にも思う。
- ・ 「暮らし」「夢」「育み」に加えるなら「つながり」か。
- ・ どうしたいのかが伝わらない。

#### 【（案1、案2）に抱く共通イメージ】

- ・ 「明日がもっと楽しみ」がよい。ひとつには、“未来が楽しみ”、“子どものように考えられる”といったイメージがよい。また、「楽しみ」は個々の人から出てくるものであり、与えられるものではないといったイメージが打ち出せていてよい。
- ・ 都市名をアピールするには「とよなか」ではなく「豊中」と表記したほうがよい。
- ・ 案1の主体は誰か、案2は行政が与えるようなイメージがする。  
→（行政）いずれも市民とともにつくっていくという趣旨である。
- ・ 「まちの将来像」は、豊中を売り込むキャッチコピーとして使うのか。
- ・ インパクトが弱いのではないか。

### II その他（豊中市全体について）

---

#### ●豊中の都市イメージ

- ・ 落ち着いた雰囲気のみち。
- ・ 転入者が多いまち。
- ・ 通勤しやすい。交通アクセスがよい。
- ・ 子どもがのびのび遊べる。
- ・ 教育環境がよい。

- ・ 教養が高い。
- ・ 治安がよい。
- ・ 住環境がよい。
- ・ みどりが多い、都市空間と自然空間が融合しているまち。
- ・ 利便性が高い。公共施設に徒歩でいける。
- ・ 引っ越してきた際、地域の方に「いいところに来ましたね」といわれ、うれしかった。好きで住まわれているのだなと感じた。
- ・ 人と人とのつきあいもあり、幅広い世代の交流があり、とけこみやすい。
- ・ 転勤族が多く、同じ境遇の世帯が多い地域では、子育て世代の方が多く、友だちがつくりやすく暮らしやすい。
- ・ 行政が熱心。

### ● 豊中市の今後の方向性

- ・ 転勤の方が多い地域においても、近所づきあい、世代間交流、地域間交流などがもっとあるとよい。
- ・ 農地が埋め立てなどで少なくなっているが、地産地消の観点からも学校のそばにある農地など、子どもたちの体験などに活用し、何とか維持していくことはできないか。(参考：農地減少 1500ha→124ha(H22))
- ・ 温室効果ガス削減目標（チャレンジ・マイナス 70 プラン）も示されているかと思うが、次世代に残していける持続可能な都市経営、ビジョンづくりが必要と感じる。
- ・ 「豊中はこういうまち」というのがよくわからない。ブランディングをどうするのが大切。
- ・ 「住みたいまち」というのは、何で売っていくのか逆に難しい。
- ・ 「豊中市の評価」としている「教育・文化」「良好な住環境」「優れた交通利便性」「活発・多様な市民活動」をどう伸ばしていくかが重要。
- ・ モノレールが高いので、もっと利用しやすいとよい。

### ● その他

- ・ （ご質問）将来像の想定にあたって、①将来人口の人口構成の想定、②財政基盤はどうか。今後どう税収を確保するか。  
→（行政）①2040年には3人に1人（30%程度）が65歳以上と想定、②財政は現在は黒字であるが、公共施設の建替えなどもあり、厳しい状況。収入の半分程度が住民の方からの税金。子育て世代に住んでもらって、住み続けてほしい。税収の面からも多くの方に住んでもらえるようにしていきたいのはもちろんであるが、空港周辺の移転補償跡地の活用などを進めて法人税の増収も考えていきたい。